

STOP！通勤災害

不安全行動（歩きスマホ等）による通勤災害を撲滅しましょう！！

通勤災害の中には、歩きスマホによる転倒災害や道路交通法違反による交通災害等、防ぐことができる通勤途上の災害が多く発生しています。

一度災害が起きると、長期間の休業に伴い、長期間にわたり労働力が衰退することにつながります。

通勤災害を撲滅するよう災害防止にご協力をお願いします。



淡路労働基準監督署

労働災害を防止するためには以下の点を重点的に取り組んでいただく必要があります。
通勤災害を防止するヒントがありますので、参考としてください。

STOP! 転倒災害

! 3つの転倒予防

アウト

転倒による労働災害は最も多く、**全体の約25%**

転倒によるケガの約**6割**が休業**1か月以上**のケガです!!

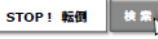
- 1 作業場所の
整理整頓
- 2 作業場所の
清掃
- 3 毎日の
運動



▶ 転倒災害は、大きく**3種類**に分けられます。
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？



厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
具体的な対策はこちらをチェック!



あなたの職場は大丈夫？

転倒の危険をチェックしてみましょう!

チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かちちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などを標識などで注意喚起していますか	<input type="checkbox"/>
8	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果は、いかがでしたか？

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合みましょう!

自動車等の運転を行わせる事業者、荷主・元請事業者の皆さまへ

交通労働災害を防止しましょう

「交通労働災害防止のためのガイドライン」のポイント

交通労働災害は、全産業に占める死亡災害のうち、2割以上を占め、労働災害防止上の重要な課題となっています。
平成24年4月に発生したツアーバスによる重大事故を受け、厚生労働省では、「交通労働災害防止のためのガイドライン」を改正しました。

このガイドラインは、労働安全衛生関係法令や「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」とともに、交通労働災害の防止を図るための指針となるものです。



5 交通労働災害防止に対する意識の高揚

1 交通労働災害防止に対する意識の高揚

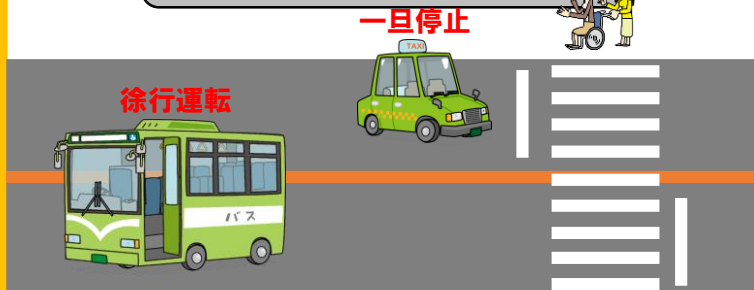
ポスターの掲示、表彰制度、交通労働災害防止大会の開催などにより、運転者の交通労働災害防止に対する意識の高揚を図りましょう。

2 交通安全情報マップの作成

交通事故発生情報、デジタル・タコグラフやドライブレコーダーの記録、交通事故の危険を感じた事例（ヒヤリ・ハット事例）に基づき、危険な箇所、注意事項を示した交通安全情報マップを作成し、配布・掲示などを行いましょ。

交通安全情報マップ

淡路労働基準監督署



淡路労働基準監督署の前の道路は、通学路となっているため徐行運転を心がけましょう。
また、横断歩道で人が渡ろうとしている際には、停止線の前で止まりましょう。